

大会宣言

労働災害の絶滅と労働者の心と体の健康確保は、私たち働く者の究極の願いである。

労働災害は、関係者のためまぬ努力により長期的には減少傾向にあるが、宮崎県内の平成二十六年の死亡者は十三名となり前年より増加している。

一方、本県における業務上疾病による被災者数は四年連続で増加しており、またメンタルヘルス対策も一層重要となってきた。

本年度は、宮崎労働局が推進する「第十二次労働災害防止推進計画」の二年目となるが、計画の目標をはじめ各重点施策ごとの目標達成に向けた取り組みを強力に推進する必要がある。

企業を取り巻く環境には大変厳しいものがあるが、如何なる時代でも、また情勢がいかに厳しくとも、私たちは「安全と健康確保は全てに優先する課題」であることを再認識し、すべての関係者が総力を挙げて労働災害の絶滅に向けた努力を続けていかなければならない。

本大会を契機に、参加者の一人ひとりが原点に立ち返って、人命尊重の基本理念を再確認し、安全で健康・快適な職場づくりに向けて全力を尽くすことをここに誓う。

右、宣言する。

平成二十六年十一月六日

平成二十六年 宮崎県産業安全衛生大会